

農業技術革新・連携フォーラム2021 オンライン開催案内

2021年12月

我が国における人口減少に伴う労働力不足は深刻な課題となっており、これからの日本農業の安定的かつ持続的発展には生産性の向上及び流通改革等が必須である。このような状況を踏まえ、農業・食品分野における最先端の研究成果を持つ農研機構、時代の潮流に先んじて経営発展を目指す農業法人、日本経済の自律的な発展と国民生活の向上に寄与することを目的とする日本経済団体連合会及び農業界と経済界との橋渡しに取り組む先端農業連携機構（一般社団法人日本食農連携機構・(株)クニエ）とが、相互に理解を深め連携することにより、農業生産の現場における更なる技術革新の実現を通じて、日本農業の安定的かつ持続的発展及び国民生活の向上に貢献するため、本フォーラムを開催する。

主催・協力

主催：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、日本経済団体連合会、日本農業法人協会
協力：先端農業連携機構（クニエ、日本食農連携機構）、全国農業会議所、日本政策金融公庫（予定）

参集範囲

農業生産者、関係組織、民間事業者、研究機関等

日程

開催日程：2021年12月14日（火）12:00～12月28日（火）17:00

オンライン会場・参加申込

<https://rf2021.gakkai.online>

上記URLの「新規登録はこちら」から参加者（ユーザー）登録を手続きのうえご入場ください。
参加費は無料です。会場は、(株)AGRI SMILEの「ONLINE CONF」を利用します。

ユーザー登録手順マニュアル：<https://hojin.or.jp/wp-content/uploads/ONLINE-CONF-user.pdf>
システム操作に関するお問合せ先：support@gakkai.online



プログラム

- 主催者挨拶 久間和生（農研機構 理事長）
磯崎功典（日本経済団体連合会 農業活性化委員長）
香山勇一（日本農業法人協会 会長）
- 基調講演 「技術革新による農業の成長産業化に何が必要か」
元農林水産事務次官 奥原正明 様
- 展示会 スマート農業、生産・基礎技術、資材機材、経営管理等
- 分科会
第1分科会 12/15（水）14:00～16:00 農地の集積・集約化
第2分科会 12/21（火）9:00～10:30 データ駆動型農業とSociety5.0
第3分科会 12/21（火）11:00～12:30 畜産分野のゼロエミッション
第4分科会 12/28（火）13:00～15:00 農業法人の事業継続

お問合せ先

先端農業連携機構 担当窓口 (株)クニエ

E-mail suzukimc@qunie.com (鈴木亨弘)

TEL: 090-1650-4708

セミナー・分科会一覧

日時・内容

12月15日(水)14:00~16:00 第1分科会「農地の集積・集約」

農業者の減少や耕作放棄地の拡大傾向が加速化する中で、食料の安定供給及び自給率向上を図りつつ農業の成長産業化や所得増大を進めるためには、その生産基盤である農地について、担い手である農業法人等に速やかに集積・集約することが喫緊の課題となっている。そこで、農地の集積・集約を進める上で現場から見た課題と提案、今後の在り方等について、農業経営者・現場推進者からの報告を踏まえて、令和時代の在り方を考える。

【主催者】公益社団法人日本農業法人協会、【協力】一般社団法人全国農業会議所

【内容】パネルディスカッション

- (1)出演者 コーディネーター:稲垣 照哉 (日本農業法人協会 理事・(一社)全国農業会議所事務局長)
パネリスト:齋藤 一志 (日本農業法人協会 副会長・(株)まいすたあ代表取締役)
パネリスト:笠原 尚美氏 (新潟県阿賀野市農業委員会会長職務代理)
パネリスト:可知 祐一郎氏 (魅力ある地域づくり研究所代表・元愛知県農地中間管理機構理事長)
- (2)内容
・現場の課題・問題点、改善提案等についての意見
・農地集積・集約の取組事例紹介
・農地集積・集約の今後の各地域への広がりや取り組み加速化に向けた討論

12月21日(火)9:00~10:30 第2分科会「データ駆動型農業とSociety5.0の農業における実現に向けて」

我々を取り巻く社会環境が大きく変わりつつある中、第5期科学技術基本計画では、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く第5の社会である「Society5.0」が、目指すべき近未来の中心的概念として示されました。農研機構は、この我が国の目指すべき新しい社会「Society5.0 農業・食品版」実現のために、データ駆動型革新的スマート農業を構築するため、収集したデータを基にした技術面・経営面からの分析・解析により、費用対効果、生産性向上、農家所得増加を定量的に実証することにより、科学技術イノベーションを創出し、我が国の成長戦略や農業・食品産業の発展とSDGsの達成に貢献します。本セミナーでは、Society5.0の農業における実現に向けた取組について考える。

【主催】農研機構

【内容】講演・パネルディスカッション

- (1)出演者 コーディネーター:長崎 裕司 (農研機構 本部 企画戦略本部 スマート農業研究管理役)
パネリスト:田中 慶 (農研機構 基盤技術研究本部 農業情報研究センター WAGRI推進室上級研究員)
パネリスト:米丸 淳一 (農研機構 基盤技術研究本部 農業情報研究センター インキュベーションラボ ラボ長)
パネリスト:酒井 大雅氏 (NTTアグリテクノロジー代表取締役社長)
パネリスト:浅井 雄一郎氏 ((株)浅井農園 代表取締役)
- (2)講演
・農業データ連携基盤(WAGRI)
・農業技術のスマート化をお手伝いします! NAROインキュベーションセンター
・「データを活用した農業の実践」に向け、農業現場でのICT活用を進める(仮題)
・常に現場を科学する研究開発型農業カンパニー(仮)
- (3)パネルディスカッション

12月21日(火)11:00~12:30 第3分科会「ゼロエミッションに向けた日本畜産の挑戦ーみどりの食料システム戦略ー」

農研機構は、農産物・食料の安定供給と自給率向上、農業・食品産業のグローバル競争力を強化し、我が国の経済成長、地球温暖化や自然災害等への対応を強化し、農業の生産性向上と環境保全を両立させることに貢献することにより、「Society5.0」の農業・食品版をスピーディに実現することを組織目標としている。農研機構では、みどりの食料システム戦略加速化WTを立ち上げ、技術開発や普及促進策を加速行政施策と緊密に連携しながら「みどりの食料システム戦略」実現に取り組んでいる。ゼロエミッションに向けて機能制御、管理技術やフードロスの削減など様々な取組があるが、本セミナーでは、畜産を中心にゼロエミッションに向けた取組と温暖化防止について考える。

【主催】農研機構

【内容】講演・パネルディスカッション

- (1)出演者 コーディネーター:長田 隆 (農研機構 本部企画戦略本部 セグメントIV理事室)
パネリスト:神谷 充 (農研機構 畜産研究部門 食肉用家畜研究領域 食肉用家畜モデル化グループ上級研究員)
パネリスト:荻野 暁史 (高度飼養技術研究領域スマート畜産施設グループ上級研究員)
パネリスト:名倉 岳志氏 ((株)ノベルズ研究所 副所長)
パネリスト:川口谷 仁氏 ((株)Kalm角山代表・北海道)
- (2)講演
・アミノ酸バランス改善飼料給与による肥育牛からの温室効果ガス排出削減
・畜産における温室効果ガス排出削減策
・循環型の農業経済モデルが十勝を変える(仮題)
・地域と共に環境に配慮した酪農(仮題)
- (3)パネルディスカッション

12月28日(火)13:00~15:00 第4分科会「農業法人の事業継続 BCP・農作業安全・災害対応」

近年多発する異常気象や、作業時に発生する事故をはじめとする災害に備え、計画的に事業継続することは、業種を問わず企業経営者の社会的責任となっている。なかでも、農業法人経営は、地域と切り離せない農地を経営資源としており、経営の安定や持続が地域に与える影響は大きなものとなっている。

そこで、持続可能な農業経営の確立に向けて、事業継続計画(BCP)の策定から見た課題と展望、農作業の安全対策の実態から農業法人経営の取組の在り方を学び、災害ボランティア支援活動から地域内の連携による地域防災への貢献の視点を考える。

【主催者】公益社団法人日本農業法人協会

【内容】講演・パネルディスカッション

- (1)出演者 コーディネーター:山田 敏之 (日本農業法人協会理事・こと京都(株)代表取締役)
パネリスト:志藤 博克 (農研機構 農業機械研究部門 機械化連携調整役)
パネリスト:明城 徹也氏 (全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 事務局長)
- (2)講演
・農業法人の事業継続計画(BCP)と展望(仮)
・経営リスクとしての農作業事故と対策方針
・地域を巻き込む防災対策(仮)
- (3)意見交換

オンライン技術展示出展者一覧

番号	出展者名	展示タイトル
1	農研機構	あなたも使ってみませんか？ 世界の遺伝資源 ～遺伝資源有効活用の取組～
2	農研機構	高周波パルスによる農産物の迅速加熱
3	農研機構	排せつ物由来の温室効果ガスを削減する肉用牛飼料の開発
4	農研機構	真夏にイチゴ?! 四季なりイチゴ「夏のしずく」
5	農研機構	美味しくてカラダにいい”もち大麦” ～いろいろな食品に利用できます～
6	農研機構	モデルブタが医療研究の明日を拓く！ 生活習慣病、再生医療研究用ブタの開発
7	農研機構	農地の機能を活用した取り組みやすい農地管理技術で 生産性を高めながら温暖化を防ぐ
8	農研機構	堆肥化処理過程における温室効果ガス削減技術
9	農研機構	内生微生物を活用した「プロバイオティクス農業」
10	農研機構	デジタルで日本の農家を応援します！ 農業データ連携基盤WAGRI
11	農研機構	秋映える夕焼け色のさつまいも あかねみのり・ほしあかね
12	農研機構	機能デザインシルク 先端バイオテクノロジーが生み出す未来素材
13	農研機構	農業用水路の熱源利用による熱交換効率化 ～ヒートポンプでのシート状熱交換器利用技術～
14	農研機構	農業技術のスマート化をお手伝いします！ 「NAROインキュベーションセンター」
15	農研機構	トマト栽培を支える省力化ロボット技術 ～接ぎ木装置と果実モニタリング装置～
16	農研機構	甘くて美味しいミカンを作る NARO シールディング・マルチ栽培
17	農研機構	<w天>防除体系 天敵を主体とした果樹のハダニ類防除技術
18	農研機構	植物の全周3次元データを取得しませんか？ 3次元で植物研究のブレークスルーを実現しよう！
19	農研機構	汚泥と食品廃棄物の混合メタン発酵と発酵残渣バイオ液肥の肥料利用技術
20	農研機構	草刈り作業の次世代ソリューション キツ～イ傾斜もおまかせ！らくらく草刈ロボ
22	日本石灰窒素工業会	ご存知ですか、国産石灰窒素
23	ネポン(株)	農業におけるデータ活用体制構築のご提案 / 農業プラットフォーム Chabu-Dai
24	アグリ・コア(株)	わさび超促進栽培システムの開発(仮)
25	(株)ITAGE	スマホで生育状況が見える化『生育ナビ』
26	日本農薬(株)	スマホで病害虫雑草を特定！「レイミーのAI病害虫雑草診断」アプリ
27	IDEC(株)	暑熱対策・飽差管理 ミストシステム
28	(株)アグリドック	有機肥料のご紹介
29	(株)ウッドプラスチックテクノロジー	環境に配慮した農業資材のご提案
30	(株)NTT e-Drone Technology	NTTが開発製造した国産ドローン「AC101」
31	ルートレック・ネットワークス	AI灌水施肥ロボット「ゼロアグリ」
32	(株)ポータス	養豚農場をICTで『見える化』トレーサビリティシステム「P-Cust」
33	エア・ウォーター(株)	土壌分析装置
34	朝日アグリア(株)	朝日アグリアの優良肥料
35	国際航業(株)	人工衛星・ドローンから診る生育情報の戦略的活用～営農支援サービス「天晴れ」～
36	NTTコムウェア(株)	営農支援クラウドサービス「BLOFware®.Doctor」
37	(株)セラク	【ファームクラウド】 畜舎環境モニタリングで高い再現性・生産性を実現！ 【みどりクラウド】 ITで高付加価値かつ生産性の高い農業を実現！
38	JA三井リース(株)	設備投資に悩んでいる農家さまへ 農業経営の役に立つかもしれない無料リースセミナー
39	トヨタネ(株)	プロファームコントローラー&ココバッグ栽培システム
40	(株)環境デザインラボ	猛暑対策、熱中症対策、乾燥対策に、お手軽ポンと置くだけ、濡れない「すずミスト」